

## 2020年度 中津市放課後児童クラブ連絡協議会 活動報告

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中津市連協も活動内容の縮小、変更を余儀なくされました。現状を踏まえた上で何ができるかを模索しながらの1年間となりました。

### ◎学習会

#### ○第1回(8/30 中津市総合庁舎)

『子どもの元気、女性の元気、熟年の元気 幼少年教育の原点と地域の教育力の向上』

三浦 清一郎氏(生涯学習通信「風の便り」編集長)

#### ○第2回

『放課後児童クラブ運営指針を理解する』

吉岡 美保氏(福岡県学童保育連絡協議会会長 遠賀南学童保育クラブ支援員)

第1回は総会終了後の開催とし、会場を分けて実施しました。異年齢集団で生活する放課後児童クラブは社会生活の予行練習の場でもあること、『幼老共生』、地域の方々との関わりが、子どもたちの成長を助けるとともに地域の活気に繋がること等、お話しいただきました。第2回は講演を映像化し、DVD 視聴とレポート提出による研修とさせていただきます。支援員の役割、育成支援の内容、運営、職場倫理等、放課後児童クラブに携わる我々が理解しておかなければならない基本的事項が運営指針に示されていることを、丁寧に説明していただきました。いずれも、現状を踏まえ、どのような研修ができるかを協議した上での研修会となり、運営側として今後の研修のあり方を見直す機会ともなりました。

### ◎専門委員会

#### ○支援員会(11/16 中津市総合庁舎・津民児童クラブ 計17クラブ参加)

総合庁舎に13クラブ(3グループに分散)、津民児童クラブに4クラブの支援員が集まり、情報交換を行いました。少人数で話しやすい雰囲気もあり、日々の保育の中での困りについて、改善、軽減につながるような話し合いを行うことができました。旧下毛地域のクラブで初めて開催できたのも今後につながる収穫となりました。

#### ○運営代表者会(3月 アンケート形式で実施 13クラブ回答)

集まるのが難しい現状のため、初めて Google Forms によるアンケート形式で要望や意見をあげていただきました。今後の新型コロナウイルスの感染状況等による臨時休校の場合の柔軟な対応、ICT 化推進の取り組み、支援員研修の充実化等の要望を市子育て支援課に伝えました。

### ◎交流・情報交換・学習の場づくり

#### ○「学童のつどい」……実施見送り

2019年度、市内の放課後児童クラブに関係する子ども、大人が一堂に会する場として開催した『学童のつどい』でしたが、2020年度は実施を見送りました。しかし、このような中だからこそ子どもたちの日常の活動を発表する場を作りたいとの思いで、小楠児童クラブひまわり・bigを中心に、作品展が開催されました(2/21中津総合庁舎)。この取り組みを参考に、今後も交流や発表の機会を作っていきたいと考えています。

### ◎行政、地域、学校との連携

例年行っていた市議会厚生環境委員会との懇談会や行政との意見交換会は実施できませんでしたが、行政(子育て支援課)とは緊密な連携を図っています。

### ◎県連協、全国連との連携

#### ○県連協運営への参画(副会長:金子、運営委員:河野、会計監査:迫)

子どもたちが安全安心に過ごせ、働く保護者を支え、支援員にとって安心して働き続けることのできる放課後児童クラブを目指し、クラブ間の連携を推進してきた大分県連協及び全国連。2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け突如実施された全国一斉の臨時休校により一日開所を求められたクラブの様々な課題を明らかにし、行政側に働きかけるとともに、その中でもより良い保育を目指して繋がり学びあう環境づくりに尽力していただきました。ZOOMを活用した学習会や県連研究集会に参加された方も多くいらっしゃいます。県連の運営に参画し、県下各地の状況を情報交換することで、地域間の連携を図ることができています。